2023年度　精神分析的心理療法セミナーみえ主催

ワーク・ディスカッションのご案内

心理療法が届かぬ世界へ・・・・

　激しいこころの痛みを抱えた人々が大勢いるのが明らかであっても、標準的な心理療法の援助が及ばない人々や世界があります。・・・こうした領域で働く臨床家は急速に増え、彼らは「専門家として、何をなすべきか」を自問自答しながら、日々、悪戦苦闘しています。

鈴木誠：ワーク・ディスカッションとは何か――ワーク・ディスカッション．
マーガレット・ラスティン，ジョナサン・ブラッドリー編（鈴木誠，鵜飼奈津子監訳）．
岩崎学術出版.2015より抜粋

　人のこころを主な対象とする専門家が働く現場は様々です。今日、そこで求められるものは、実に多様化しており、その一方で、人の心を大切にする対人援助の専門家として働くことに、そうあり続けることに、悪戦苦闘している方が増えています。「今の職場で私は、私が学んできたことを活かし、本当にやりたいと思っていることができていない」などという声を多く耳にします。

　ワーク・ディスカッションは、個人心理療法だけではない私たちの仕事（work）全てを対象としています。英国のタビストック・クリニックで発展してきたワーク・ディスカッションは、ビオンのコンテインメントの概念など、精神分析の着想を応用するグループワークです。1960年代からタビストック・クリニックの体系的な訓練プログラムとして登場し、現在では幅広い対人援助職の大学院のカリキュラムにも組み込まれていますが、わが国ではまだ馴染みの薄いものです。

　セミナーみえが主催するワーク・ディスカッションは、ワーク・ディスカッションメソッドによる事例検討会です。臨床心理士、公認心理師、そして精神分析家だけでなく、多くの職種の方の参加を歓迎しており、これまでに児童養護施設職員や看護師、PSW、医師、教師の方などにもご参加いただいております。

　従来は対面による事例検討会でしたが、現在はzoomによるオンラインで開催しており、全国各地からのご参加が可能となっています。

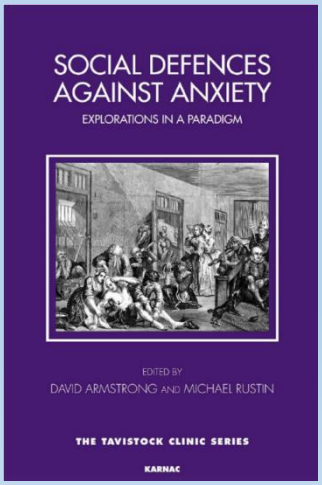
－－－講師の紹介－－－

鈴木　誠
　くわな心理相談室主宰
　日本精神分析学会　認定スーパーバイザー／認定心理療法士

－－－テキストの紹介－－－

David Armstrong、Michael Rustin編
Social Defences Against Anxiety: Explorations in a Paradigm
Karnac Books 2015
※本文献の邦訳版は出版されていませんが、当セミナーで日本語訳を提供します

2023年度は文献購読をお休みします



※本セミナーでは文献購読もあわせて行っておりますが、2023年度につきましてはお休みさせていただきます。

2023年度　ワークディスカッション・セミナー募集内容

【日時】　月１回水曜日　19：00～21：00　年10回
※2023年度開催予定日
4月12日・5月10日・6月14日・7月12日・9月13日・10月11日・11月8日・
12月13日・1月10日・2月14日　（予備日）8月16日・3月13日

【参加資格】　対人援助職の方
※臨床心理士　公認心理師　医師　看護師　社会福祉士／精神保健福祉士　教師　保育士
心理系大学院生　など

【定員】　20名
※定員に達し次第、申込を締め切らせていただきます

【会場】　Web会議室zoom
※オンラインでの開催です。現在、対面でのセミナーは開催しておりません。

【受講料】　￥50,000（年会費　￥10,000　＋　参加費　￥40,000）
※セミナーみえ主催2023年度系統講義および事例検討会を受講される方は、メンバーシップ割引が適用され、**￥20,000**で受講できます。

※日本臨床心理士資格認定協会定例型（継続型）研修会（２または４ポイント）を申請する予定です。

ワークディスカッション・セミナー申込方法

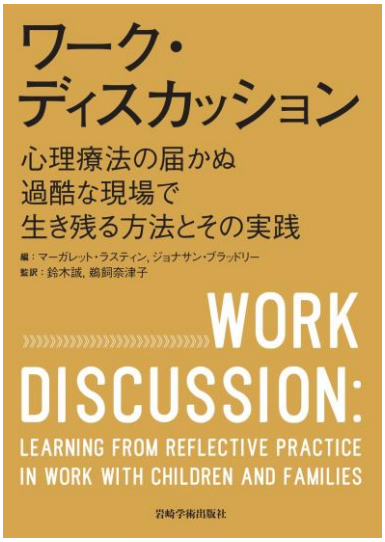
右のURLまたはQRコードのGoogleフォームにて
必要事項を入力の上、**2023年３月23日（木）**までに
お申し込みください。

2023年度精神分析的心理療法セミナーみえ
申込用フォーム

https://forms.gle/mBq49MEDWt1VLBgA8

参考文献のご紹介

マーガレット・ラスティン，ジョナサン・ブラッドリー編
鈴木誠，鵜飼奈津子　監訳
「ワーク・ディスカッション　―心理療法の届かぬ過酷な現場で生き残る方法とその実践―」
岩崎学術出版　2015



【お問い合わせはこちら】
精神分析的心理療法セミナーみえ事務局
seminar.mie.jimukyoku@gmail.com